

平成29年度 大学院人文科学府修士課程第2期入学試験問題
(言語学)

1枚目の解答用紙に問1の解答を書き、2枚目の解答用紙に問2か問3のいずれかを選択して解答を書くこと。

問1. (必修問題)

次のデータは、ある言語の名詞の単独形と、助詞が付いた形である(概ね日本語の「を」と「の」に相当)。これを見て、下の問いに答えなさい。なお、母音 [ɤ] は「半狭、中舌、非円唇」の母音であるが、もっと狭く [i] と発音されることもある。

意味	単独形	+ 助詞 [vɤ] <を>	+ 助詞 [i] <の>
脳みそ	[fix]	[fiɤvɤ]	[fiɤi]
はしご	[van]	[vanvɤ]	[vapi]
鼻	[ɔvur]	[ɔvurvɤ]	[ɔvurui]
さいころの面	[muk]	[mukvɤ]	[mukui]
虱	[tʃiɤ]	[tʃiɤvɤ]	[tʃiɤi]
目	[jas]	[jazvɤ]	[jazsi]
耳	[san]	[sanvɤ]	[sapi]
背中	[fiza]	[fizavɤ]	[fizai]
茄子	[χaɤi]	[χaɤivɤ]	[χaɤii]
斧	[suɤɔ]	[suɤɔvɤ]	[suɤɔi]
ある種の幟	[fɔt]	[fɔdɤvɤ]	[fɔdɤi]
蜘蛛	[xɤmɤɤn]	[xɤmɤɤnvɤ]	[xɤmɤɤpi]
土中の湿り気	[tʃix]	[tʃiɤvɤ]	[tʃiɤi]
本	[bitxɤ]	[bitxɤvɤ]	[bitxɤi]
たね	[uzɔ]	[uzɔvɤ]	[uzɔi]
そら	[afqa]	[afqavɤ]	[afqai]
雨	[aɾa]	[aɾavɤ]	[aɾai]
蠅	[durvɔ]	[durvɔvɤ]	[durvɔi]
年	[an]	[anivɤ]	[anii]
肉	[jal]	[jalivɤ]	[jali]
水	[muku]	[mukvɤ]	[mukui]
穀物	[dʒɤk]	[dʒɤkuvɤ]	[dʒɤkui]
岩峰	[χat]	[χadɤvɤ]	[χadɤi]
お化け	[xut]	[xutvɤ]	[xutui]
人	[nan]	[nanɤvɤ]	[nansi]
鉄	[sɤl]	[sɤlvɤ]	[sɤlɤi]

[問 1 - 1]

この言語に母音はいくつあるか。また、名詞の語末の母音の有無に着目すると、それらの母音はどのようなグループに分けられるか。

[問 1 - 2]

単独形で [n] 終わりの場合、基底形（話者の頭の中の辞書に登録されている形）も /n/ 終わりとしてよいか、論じなさい。

[問 1 - 3]

上記以外にも、いくつかの音韻現象が見られる。1つ選んで記述しなさい。

問 2. (選択問題)

以下は、オーストラリアで話されている Pitjantjatjara 語の文と、その英語訳のセットである。(sg)は単数、(two)および(2)は双数、(pl)は複数を表す。このデータをもとに、以下の問いに答えなさい。

著作権保護のため、このWeb 公開版ではデータセットを削除した。

[問2-1]

データに基づき、人称代名詞とそれ以外の名詞（語彙名詞）に分けて、表の形式で、他動詞主語(A)の形、自動詞主語(S)の形、他動詞目的語(P)の形をまとめなさい。表は、以下の表1, 2を参考にして解答用紙に作成すること。なお、語彙名詞に関しては、場所格(Loc)の形もデータから判明するので、それについても記入すること。

なお、ほとんどの格形はデータから確認できるが、いくつかはデータには存在しない。しかし、ほかのデータから予測される格形を補って記入すること。

表 1. 代名詞の格形

	1sg	1du	1pl	2sg	2pl	3sg	3pl
A							
S							
P							

表 2. 語彙名詞の格形

	Ampin	Pili	man	woman	child	kangaroo
A						
S						
P						
Loc						

[問2-2]

表に記入した人称代名詞と語彙名詞それぞれに対して、形態素分析できるものがあれば語幹と格語尾にわけ、語幹と格語尾の間にハイフン(-)を入れなさい。

[問2-3]

言語類型論における格体系の類型に沿って、この言語の格体系の特徴を述べなさい。

[問2-4]

38の英訳を書きなさい。

[問2-5]

39のPitjantjatjara語訳を書きなさい。

問3. (選択問題)

自分の母語では、**疑問文**にどのような種類があるか、それぞれ例文を示しながら、日本語母語話者にわかるように説明しなさい。「疑問文」の定義も含めて、自分なりの分類でかまわない。日本語以外の言語の例文には、語ごとの逐語訳と文全体の訳を記すこと。